

「サステナビリティ・オントロジーの利点と効果を見つめ直す」

【開催日時】

平成 20 年 10 月 21 日 (火) 14:00~17:00

【開催場所】

大阪大学 先端科学イノベーションセンター先導的研究棟 2F 会議室

(<http://www.casi.osaka-u.ac.jp/org/access.html> 地図上赤い印の一番左側の建物になります。)

【主催】

大阪大学サステナビリティ・サイエンス研究機構 (RISS) 知の構造化ワークショップ

主査: 溝口 理一郎 教授 (大阪大学 産業科学研究所)

【参加費・申込み方法】

参加費は無料です。

参加を希望される方は、メール、電話、FAX のいずれかで下記までご連絡下さい。

大阪大学サステナビリティ・サイエンス研究機構 担当: 熊澤

(E-mail: kumazawa@riss.osaka-u.ac.jp, TEL: 06-6879-4150, FAX: 06-6875-6271)

【開催趣旨】

RISS では、特定領域の知に依存しない基盤技術としてオントロジー工学に着目し、サステナビリティ・オントロジーの開発に挑んできた。しかしながら、人と社会は、これを組み込んだ情報システムに、どのような効能を期待しているのだろうか。この点について、これまで社会的に共有されていたとは言い難い。今回のワークショップでは、オントロジーの持つ利点と効果について改めて議論する。知識共有基盤の構築、環境情報データベースの運用といった局面を題材に、理論・応用の両面から利点と効果を明らかにしていく。

【プログラム】

1. 講演『ウェブ上の協調型知識共有基盤開発からみたオントロジーの効用』

東京大学 総括プロジェクト機構学術統合化プロジェクト (ヒト) 准教授

クレイネス スティーヴン 14:10~14:50

2. 講演『オントロジーを用いた環境情報のデータベースの紹介』

慶應義塾大学 総合政策学部 教授 福井 弘道

14:50~15:30

(休憩 (10分))

3. 報告『RISS サステナビリティ・オントロジーフレームワークと構築の進捗』

大阪大学 サステナビリティ・サイエンス研究機構 特任助教 熊澤 輝一

15:40~16:00

4. 意見交換会 — 『サステナビリティ・オントロジーの利点と効果を改めて考える』

福井教授、クレイネス准教授、溝口教授 (本 WS 主査) に参加者を交えて議論します。16:00~17:00